

大正喜間多 おほたけら 郷土史家。明治二十二年一月十五日長野縣植科郡
寺尾村生れ、昭和二十四年十一月十九日歿（八九—九五）。號遊民。
松代尋常小學校卒業後は獨學。殊に眞田氏の研究家として知られた。
著書「佐久間象山」(昭和十年四月、二十九年長野・信濃郷土文化普及
會「信濃郷土叢書」)、「恩田木工」(内題「恩田木工民親傳」昭和
十年十月、二十九年長野・信濃毎日新聞社)、「藩風と藩學」(合著・朝
日新聞社學藝部編、昭和十九年九月、二十九年養徳社)、「現代語譯ひび
ら」(大正一)附録眞田眞弘、恩田木工傳』(昭和二十八年十一月)二百
長野・松代文化資料展覽會)等。